

大分県環境教育等行動計画の概要

第I章 行動計画の基本的な事項

1 行動計画策定の背景・趣旨

環境教育を総合的・計画的に推進していくために定めた、大分県新環境教育・学習基本方針策定から相当期間経過し、ESD（持続可能な開発のための教育）の推進、東北地方太平洋沖地震を契機に人と人とのつながり、地域とのつながりやボランティアなどの社会への貢献が強く意識されるなど、社会情勢が大きく変化した。

また、本県の恵み豊かな自然環境を守り、将来に継承するために始めた「ごみゼロおおいた作戦」の浸透により、県民一人ひとりの環境に関する意識が高まり、積極的に環境問題に取り組む人材を育てるための環境教育・学習の推進の重要性が再認識された。

そのため、新たに環境教育等に関し方向性及び具体的施策を示し、それを総合的かつ計画的に実施するため、行動計画を策定する。

2 行動計画の位置付け・期間等

- ・「大分県新環境基本計画～ごみゼロおおいた推進基本プラン～」の環境教育等に関する計画
- ・「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」第8条の行動計画
- ・計画期間は、平成26年4月1日から平成28年3月31日までとする。（大分県新環境基本計画の計画期間とあわせる）

3 計画の目的

「持続可能な社会の構築」及び「ごみゼロおおいた作戦」を担っていける人材の育成。

4 各主体の役割

以下の各主体ごとにそれぞれ求められる役割を提示

- (1) 家庭 (2) 学校 (3) 地域社会 (4) 事業者 (5) 県、市町村

第II章 環境教育等の基本的な方向

1 環境保全活動及び環境保全の意欲の増進についての取組の方向

- ・環境問題等の課題に自ら進んで取り組むことの重要性（自発的な取組の促進）
- ・あらゆる主体に取組が広がって行くことの重要性（新しい公共）

2 環境教育の推進方策についての取組の方向

- ・発達段階に応じた環境教育の推進
- ・環境教育がはぐくむべき能力は、「未来を創る力」と「環境保全のための力」
- ・環境教育に求められる要素は、ESDの視点、環境保全活動、環境保全の意欲の増進等様々な視点からのアプローチ

具体的には 豊かな環境とその恵みを大切に思う心をはぐくむこと
いのちの大切さを学ぶこと
ふるさとへの誇りや将来への夢をもてるようにすること 等

3 協働取組についての取組の方向

- ・NPO、事業者、行政等の多様な主体が、それぞれの特性を活かし、対等な立場で共通の目的を達成すること
- ・十分な協議等による相互理解、情報開示、互いに支え合う仕組みの構築、協働機会の拡大

第IV章 行動計画の推進・進行管理

1 推進体制

- ・環境担当部局と教育委員会・学校との連携
- ・ごみゼロおおいた作戦県民会議との連携

2 進行管理

- ・毎年、取組の実施状況、行動指標に関わる目標の達成状況を公表

第III章 行動計画

具体的な行動計画と行動指標の提示

持続可能な社会の構築及び「ごみゼロおおいた作戦」を担っていける人材の育成

人材の育成と活用

- ・学校等における指導者の育成
- ・地域社会等における指導者の育成
- ・環境保全活動を行っているNPO等との協働
- ・環境教育アドバイザー、森の先生等の活用
- ・幼児向け環境ワークショップ研修の実施

参加の場や機会づくり

- 自然体験活動等の実体験を伴う環境教育（「豊かな水環境の創出」等に向けた環境教育）
- ・学校等における環境教育等の充実
幼児期からはじめる環境教育
学校教育における環境教育
- ・家庭・地域社会における環境教育等の充実
ごみゼロおおいた推進隊、NPOへの支援
青少年の家、県民の森等での自然体験活動
- ・事業所が行う環境教育等への支援

協働取組の推進

- ・県民、事業者等との協働
ごみゼロおおいた推進隊等への支援
レジ袋無料配布中止の取組に関する協定事業者との協働
- ・NPOとの協働

教材・学習プログラムの整備と活用

- ・教材・学習プログラム等の整備
- ・学校における教材・学習プログラム等の活用
- ・地域社会等における教材・学習プログラム等の活用

効果的な情報提供

- ・各種メディアを活用した情報提供
- ・相談、問い合わせへの適切な対応

行動指標

	H24(現状)	H27(目標)
・環境教育アドバイザーの派遣回数	82件	100件
・ごみゼロエコール受講者	—	80人(累計)
・幼児向け環境ワークショップ研修	—	3カ所

・環境教育アドバイザーの派遣回数	82件	100件
・NPO等と協働した児童生徒に対する体験型環境教育	—	10団体
・世界農業遺産等を活用した環境教育	—	112校
・高等学校での地域と協働した環境教育	—	15件
・ユネスコスクール登録数	0	12校(累計)
・幼児・児童向け環境劇	26回	25回
・幼児向け環境ワークショップ研修	—	3カ所
・子どもエコクラブ登録団体数	35団体	45団体
・ISO14001、エコアクション21登録	191件	220件(累計)
・公民館での環境教育関係学級・講座	27回	54回
・森林環境教育参加者	8,500人	12,000人
・全国水生生物調査への参加	15団体	20団体

・環境教育アドバイザーの派遣回数	82件	100件
・NPO等と協働した児童生徒に対する体験型環境教育	—	10団体
・ごみゼロエコール受講者	—	80人(累計)
・幼児・児童向け環境劇	26回	25回
・幼児向け環境ワークショップ研修	—	3カ所
・森林環境教育参加者	8,500人	12,000人

・環境学習用DVD貸出件数	3件	50件
---------------	----	-----

・大分県環境学習サイト ～きらりんネット～へのアクセス	8,691件	10,000件
--------------------------------	--------	---------